

松江市議会2026年度予算の審査① たちばなふみ団長が総括質疑

2月議会では予算審議のため、予算委員会において会派代表による総括質疑が行われます。共産党市議団からたちばなふみ団長が質疑に立ちました。抜粋して報告します。

合併20年人口20万人割る

平成の大合併から20年、人口減少の中で県から移譲された実務の負担など「住民サービス・行政機能の維持」が全国的課題となっている。

たちばな市議：合併して20年。中核市となったが人口減少が続く人口20万人を割り19万4千人となった。人口が指定要件を満たさなくなっても指定は取り消されないが、県の事務の権限移譲を受けること等が住民にとって本当に必要なのか、再検討が必要ではないか。

総務部長：中核市としての権限を生かし地域の特性に応じた柔軟な細やかな施策を実施してきた。国での都道府県・市町村の役割分担見直しの議論を注視していく。

引きこもり支援などの国の交付金が減少

たちばな市議：国の予算案では、介護や障害福祉、子育て、生活困窮者支援の4部門



で一体的につかえる地域共生交付金が大幅削減した。松江市の重層的支援体制整備事業（地域づくりに向けた支援事業）への影響はどうか。縦割り行政のはざままで取り残される住民を分野横断的に支援してきたと考えるが今後も支援は継続されるのか。
健康福祉部長：国からの交付金は2290万円を見込んでいる。2300万円の減となっているが引き続き支援に必要な予算を確保し事業を継続する。

ジェンダー平等実現へ

たちばな市議：ジェンダーによる不平等を克服していくため、あらゆる場面でパリティ（男女同数・男女平等）の推進、意思決定の場に女性を意識的に配置していくことが求められている。次年度に向けて市の姿勢はどうか。審議会委員や、公民館運営協議会、学校長などで男女の割合はどうか。6月議会の答弁で防災備蓄品の活用なども行い公共施設に生理用品を配置する方



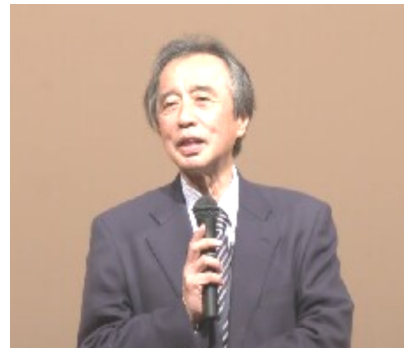
針を伺ったが進捗と次年度に向けての計画を伺う。

市民部長：議員おっしゃる通り意思決定の場に女性の参加を増やすことは重要。市の審議会等では男女ともに40%を下回らないよう助言や女性参画率の向上を図っている。意思決定に参画する女性を増やすことはジェンダー平等実現のため重要であり引き続き取り組む。

総務部長：市役所の管理職に占める女性の割合は31.3%で目標30%を上回っている。市民部長：10月1日時点で98の審議会の内、委員総数は194人。女性委員は44人でその割合は36.9%。公民館運営協議会は役員総数817人。うち女性役員は225人で割合は27.5%。市立学校の校長は総数48名。うち女性7名で割合は14.6%。

市民部長：生理用品の無償配布は昨年7月からレッドボックスジャパンからの入荷が途絶え配布できていない。今後は他自治体が連携している民間事業者と調整を図るなど、公共施設のトイレに安定的かつ継続的に生理用品を無償設置できる手法を検討していきたい。防災備蓄用生理用品については令和8年度内に無償配布を行うべく準備を進めていく。

憲法9条は世界の宝メイクピースのつどい ジャーナリスト金平茂紀氏が講演



講演する金平茂紀氏

5月3日憲法記念日松江市のテルサホールで、今年20回目を迎える「憲法9条は世界の宝」メイクピースの集いが開催され、430名の市民が集いました。

音楽ユニット「プラバーフット」の皆さんの反戦の歌声で爽やかに始まり、加納克己氏が主催者を代表し、「高市政権の誕生で軍拡と戦争する国づくりが進み、憲法9条改悪が迫ってきている、みんなで憲法を守っていきましょう」と挨拶しました。

メイン企画としてTBS報道特集のキャスターとして有名な金平茂紀氏が「戦争をしないと誓った憲法が壊されようとしている時代に」と題して講演しました。

金平氏は「筑紫哲也NEWS23」編集長の経歴もあり、筑紫哲也氏を師として経験してきたことや現在の政治情勢を報道特集の映像なども使い縦横に講演。金平氏は「筑紫氏が『報道は権力におもねつ

てはならない。権力の行き過ぎをしつかり批判することが使命だ」と一貫して主張していたと紹介し「自分もその思いを受け継いでいる。だからこそ、憲法が壊されようとしている時代に、ジャーナリストとして、口を閉ざしてはいけなくて発言して来ている」と語りました。

講演の中で、自民党が多数を占め、維新や参政党など衆院選挙で改憲派が圧勝した今、高市首相が自民党大会で、「時はきた」と憲法改正に自民党が乗り出すことを表明している」と指摘。金平氏は「高市氏の憲法に対する考えがそもそも違っている。憲法は国が誤った方向にいかないように国民が監視するもの」「改憲派は国が国民をがんじがらめにするのが憲法だとは違えている」と糾弾。「このままでは国民投票も現実のものとなってしまふ。しかし相手の土俵にのらないことが大切

講演後「日米一体で戦争する国づくりが加速している。軍事的抑止力の強化で平和はつくれない。武力で物事を解決しない誓った憲法9条は世界の宝。市民一人一人が平和をつくる行動に踏み出そう」と呼びかける集会アピールが読み上げられ、参加者の拍手で採択されました。



430人の市民の参加で会場がいっぱいに



プラバーフットのみなさん